

第 166 回 J M R C 中部運営委員会報告書

開催日時 2005 年 3 月 1 日 (火) 8:00 P M ~ 10:00 P M

開催場所 名古屋市昭和区福江 J A F 中部本部 3F ミーティングルーム

《議題》

- 前回議事録の確認
- 各委員会部会報告
- J M R C 中部スピード行事新クラスの検討
- 新城ラリーについて
- その他

《議事》

鈴木運営委員長の挨拶に続き、嶽下副運営委員長を議長として議事進行が行われた。

前回議事録の確認

- ・第 165 回運営委員会議事録は一部修正し、正式議事録として認められた。

各委員会部会報告

【ジムカーナ部会】

- ・2 月 14 日小牧勤労センターにて午前に主催者会議、午後から第 1 回の部会を行った。車検合格ステッカーについて貼りにくいので、以前のような長方形にしてほしいとの意見があり検討していただきたい。
- ・東海シリーズ第 1 戦が、幸田サーキット(主催：Z E S T)で 2 月 20 日に行われた。参加は 124 台で運営およびコース設定もよく、選手の幸田サーキットに対する印象もよかったようである。
- ・チャンピオン戦第 1 戦が、鈴鹿南コース(主催：N R C)で 2 月 27 日に行われた。最大参加台数を超える参加申し込みがあり 10 台不受理となったが、S A - 3 と S C クラスについては不成立となってしまった。運営、コース設定は非常によかった。
- ・前回運営委員会で報告した、選手からのロールケージ装着の義務付けに関する要望書について検討した結果、部会では扱わない事となり、本人にもその経緯を伝え提出する際には個人名で提出するようにお願いした。
- ・今年の西日本フェスティバルは、名阪で開催される J M R C オールスターに比べ、遠い九州で開催されるため、1 人でも多くの選手に参加してもらうように昨年度東海シリーズ協力金の一部と、昨年度 J M R C オールスター地区対抗戦の賞金全額を参加選手に頭割りで配布することにした。

【ラリー部会】

- ・2 月 13 日に部会を行った。
- ・2 月 20 日に近畿との合同会議を行い車両等について調整を行った。
- ・次回は 5 月 8 日に三重県内で開催予定。

【レース部会】

- ・報告事項なし。

【審査員グループ】

- ・報告事項なし。

【総務広報委員会】

- ・3 月中に会議予定。

【ダートトライアル部会】

- ・次週開催されるチャンピオン戦第 1 戦は S 2 クラスが不成立となった。

【事務局】

- ・ J M R C 中部への入会状況の報告が行われた。
- ・ T S R、C 主催でダイナランドのクロズドジムカーナ(8 戦)の共済会適用申請については審議により適用となった。

【共済会管理委員会】

- ・ 報告事項なし。

【J A F 登録部会】

- ・ 報告事項なし。

【J A F ラリー部会】

- ・ 2 月 2 日に会議を行った。
- ・ ラリー方式の T C (S S) アベレージラリーについてそれぞれ規則等整備をしてゆく。これは初心者対象や地方地域によって S S ができないケースがあるため。
- ・ 救急安全対策について全日本戦から体制を整えてゆく。
- ・ 競技役員セミナーについて検討予定。
- ・ クロズドされたサーキット中だけでのラリーが申請されて場合について検討を始めた。形態が変わらなければ問題はないと思われる。

【J A F 安全部会】

- ・ F I A の富士スピードウェイコース査察が行われ F 1 が開催可能なグレード 1 のライセンスが降りた。

J M R C 中部スピード行事新クラスの検討

- ・ 現在販売されている車はモータースポーツに適した車が少なく、またクラス区分と合わないためモータースポーツの振興も考慮して新クラスの検討を始めた。新クラスは現在販売されている各メーカーの 1500cc・自然吸気・二輪駆動のマニュアルミッション車とし、入門しやすくローコストでメーカーおよび販売店の協力が得られて将来的には全国展開も視野に入れる。

新城ラリーについて

- ・ 昨年新城ラリー関連記事と内閣府発行の「キャビネット」誌の回覧を行った。
- ・ 2005 年の組織委員会がスタートした。
- ・ 2005 年の新城ラリーは鳳来町、作手村との合併を記念したラリーとなる。
- ・ 2005 年新城ラリー関連イベントの計画が報告された。
- ・ 新城市と自衛隊で行われた安全運転講習会の報告が行われた。
- ・ J M R C 中部は 2005 年の新城ラリーに昨年と同様に協力する。

その他

- ・ J A F 中部本部小川課長よりクラブ更新について、未更新クラブは更新を早急にお願いしたいと連絡された。

以上報告 総務広報委員会 熊澤滋樹